

記者発表（資料配付）				
月日 （曜日）	担当課・係	電 話	発 表 者	その他の発表 資料配付先
4月5日 （木）	社会教育課 施設・管理班	078-362-9434	課長 土屋 由利子 （副課長 木山 正規）	—
	文化財課 文化財班	078-362-3783 078-362-3784	課長 山下 史朗 （副課長 熊谷 久男）	

平成30年度県立美術館・博物館展覧会等計画について

1 県 立 美 術 館

2 県立人と自然の博物館

3 県立歴史博物館

4 県立考古博物館

5 県立考古博物館加西分館

平成30年度 県立美術館展覧会等計画

区分	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
展覧会	特別展													
	「小磯良平と吉原治良」展 3月24日(土)～5月27日(日) 阪神間が生んだふたりの巨匠、小磯良平と吉原治良。彼らはほぼ同時代を地理的にきわめて近い位置において、制作してきたにもかかわらず、その画業を同時に評価する機会は従来ほとんどありませんでした。本展では彼らの作品を時代ごとに並置し、それぞれの画業の再確認とともに、その対照性と類似性を明らかにします。 【主な出品作品】 ・小磯良平「斉唱」 ・吉原治良「黒地に赤い円」等			【日本スペイン外交関係樹立150周年記念 兵庫県政150周年記念事業】 ブラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光 6月13日(水)～10月14日(日) 歴代スペイン国王の収集品を核として1819年に開設されたブラド美術館。本展は同館が誇る巨匠ディエゴ・ベラスケスの本邦初公開の作品を含む7点を軸とし、テイツァーノやルーベンスなど王室コレクションの数々の傑作で構成します。絵画の黄金時代といわれる17世紀を中心とするヨーロッパ絵画の粋をご覧ください。貴重な機会となります。 【主な出品作品】 ・ディエゴ・ベラスケス 「王太子バルタサル・カルロス騎馬像」等			サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法 10月27日(土)～12月24日(月・休) 20世紀フランスを代表するポスター作家レイモン・サヴィニャック(1907-2002)。鮮やかな色使いと大胆な造形、そしてユーモアとエスプリに満ちたその表現は「ビジュアル・スキャンダル」と呼ばれ、それまでのポスターの様式を一新しました。本展では、ポスター約90点とともに写真や原画、関連書籍などもあわせて展示することでサヴィニャックの仕事の総合的にご紹介します。 【主な出品作品】 ・レイモン・サヴィニャック 「牛乳石鹸モンサヴォン」等			現代美術にみる ヒーロー&ひとびと(仮題) 1月12日(土)～3月17日(日) 20世紀のはじめから現代へといたる日本の美術作家の作品について、「ヒーロー」という特別な存在と、そうではないふつうの「ひとびと」という対照的な人間のありかたに注目しながら、紙芝居、漫画やアニメ、特撮などの大衆的表現とともにご紹介します。 【主な出品作品】 ・安井仲治「旗」 ・会田誠「一人デモマシーン(サラリーマン反対)」等				
	Back to 1918: 10年ひとむかしと人は言う 3月17日(土)～6月24日(日) 「10年ひとむかし」といわれるように、10年という時間の幅はひとつのまとまりとして自然に意識されるものようです。そこで今回の県美プレミアムでは2008年、1998年と10年ごとに時間をさかのぼり、その年に生まれた作品やその年の出来事に関連のある作品をご紹介します。当館のコレクションとともに10年ごとの時間旅行をお楽しみください。			小企画:美術の中のかたち 一手で見る造形 中ハシクシゲ展(仮題) 特集:県政150周年記念 ひょうご近代150年(仮題) 7月7日(土)～11月4日(日) 小企画は、毎年恒例の作品に触れることのできる展覧会。今回は、近年、粘土による「塑造」制作に力を注ぐ美術家の中ハシクシゲ(1955-)氏の作品を通じてかたちを体験します。 特集では、県政150周年を記念し、兵庫の風土・人々・生活、そして明治以後から今日までの兵庫の歩みを収蔵品で振り返ります。もちろん兵庫ならではの美術の動きも紹介。昨年度新しく収蔵した作品もお披露目します。			小企画:M氏コレクションによる J・J・グランヴィル(仮題) 特集:類は友を呼ぶ 11月17日(土)～3月3日(日) 小企画では、国内有数のコレクター・M氏の協力を得て、19世紀フランスを代表する挿絵画家のひとりであるJ・J・グランヴィル(1803-1847)のシュルレアリスムを先駆する特異なイマジネーションを紹介します。 特集では、当館のコレクションの中から、描線の特徴、二つの世界を対比する仕方等、作品内の要素や構成の原理に着目した展示構成とし、共通項の中で個々の独自性を浮かび上がらせていきます。							
共催展 ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマリーまで～ 4月7日(土)～7月1日(日) ジブリ作品がどのように生み出され、世に出て行ったのか... ポスター・広告・グッズ等の宣伝物を中心に、企画書など未公開のものを含む多数の資料を展示、スタジオジブリの30年間の歩みが体感できます。			共催展 絵本原画展 いもようこの世界 7月14日(土)～9月2日(日) 絵を見た瞬間、何ともいえないあたたかい気持ちに包まれる。いもようこの絵本。その原画約300点が展示される様子は圧巻。繊細な手仕事でつくられた絵から、言葉にならない気持ちや心象風景が伝わってくるような貴重な原画を、ぜひ間近に見てください。			2018県展 7月28日(土) ～8月18日(土) 会場:原田の森ギャラリー 県内で美術制作に励む方々の発表の場としての公募展。			一チャンネル9ー 和田淳展「私の沼」(仮題) 11月3日(土) ～12月2日(日) 現在活躍中の作家を紹介するシリーズの第9回として、和田淳(1980年-)の個展を開催します。アニメーション作家として国内外で注目を集める和田氏の独創的な映像世界をご紹介します。			共催展 Su Xiaobai展(仮題) 10～11月予定		
イベント等	・コンサート ・映画会 ・「KEN-Vi文化セミナー」 ・子ども向けプログラム ・美術講座 館内の様々なスペースを活用したコンサート 「KEN-Vi名画サロン」「県美シネマクラシック」等の映画上映会 県内外の著名な文化人を講師に招いたセミナー 小中学生を対象とするワークショップ「こどものイベント」や解説会やおやこ絵画大会等 日本画、洋画など作品づくりの美技講座													

平成30年度 県立人と自然の博物館展覧会等計画

区分	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開館25周年記念 国際共同特別展示・研究成果報告展 最古の石器とハンドアックスーデザインの始まり 2月11日(日・祝)～4月22日(日)</p> <p>25周年記念展示 ひとくはく研究員のいちおし25選:エテオピア調査写真展 2月11日(日・祝)～4月22日(日)</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コレクション展 美しき蝶たちとの出会い ー江田コレクション展2018 7月7日(土)～9月30日(日)</p> <p>江田コレクションは蝶を中心に世界の昆虫を収集したコレクションです。今回は、その中から厳選した美麗な蝶たちを展示します。</p> </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔兵庫県政150周年記念事業 展示特別企画〕 ひょうご五国の自然展 10月6日(土)～1月6日(日)</p> <p>兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海と太平洋に囲まれ、冬も温暖な淡路から多雪で知られる但馬まで、さまざまな気候と環境がそろうた自然豊かな県です。 本展示とその関連セミナーでは、これら「ひょうご五国」の自然の特徴について、博物館の収蔵資料を用いてわかりやすく紹介・解説します。</p> </div> <div style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ミニ企画展 ひとくはく研究員展2019 「ひとくはくの今」 2月9日(土)～4月21日(日)</p> <p>博物館研究員が日々行っている研究、最新動向を紹介し、調査・研究することの面白さを伝えます。</p> </div> </div>											
	<p>ミニ企画展:六甲山のキノコ展2018 2月11日(日・祝)～5月25日(金)</p>											
イベント等	<p>Kidsサンデー</p> <p>毎月(2月除く)第1日曜日に小さな子ども達にも楽しめる自然・環境に関するさまざまなプログラムを実施しています。</p>											
	<p>標本のミカタ ～コレクションから新しい発見を生み出す～</p> <p>「ひとくはく」では、今年度から博物館が収蔵する標本をふんだんに使って、標本から自然環境や地球の成り立ち、まちの様子について、多様な観点から読み解き方を解説するオープンセミナー「標本のミカタ」を始めます。普段は、収蔵庫に格納されていたり、ガラスケースの中にあたりして間近で観察することができませんが、このオープンセミナーでは、研究員が顕微鏡などの道具を使ってじっくりと解説いたします。関連のイベントも多数あります。</p> <p style="text-align: center;"><植物標本> <液浸標本> <蝶類標本> <古写真・古地図> <アンモナイト化石> <鳥類標本></p>											
	<p>ひとくはくキャラバン & 移動博物館車「ゆめはく」～地域における生涯学習の展開～</p> <p>移動博物館車「ゆめはく」により、様々な地域・施設で展示・セミナー・体験型プログラム等を実施し、多くの学習機会を提供するとともに、地域における生涯学習支援、地域づくりを推進する担い手の育成を支援しています。</p>											
セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・一般セミナー(通年):地球科学、植物、昆虫、環境と地域づくり等の講座を開設(事前申込必要・専門的な学習) 複数回にわたり開催し、より深く専門分野をじっくり学べるセミナーを開催 ・オープンセミナー(通年):地球科学、植物、昆虫、動物と生態系等のテーマで実施(事前申込不要・気軽に参加できるセミナー) ・教職員・指導者セミナー(夏季休業中):学校や指導の場で役立つ多様なセミナーを開催 											
常設展	テーマ	兵庫の自然誌	人と自然	ナチュラルリストの幻郷	丹波の恐竜化石	水生生物の世界	ひとくはく多様性フロア	地球・生命と大地	共生の森			
	内容	兵庫県の特色ある自然と生きものを紹介	人と自然の関係の変遷、自然からの警鐘について解説	博物館に寄せられた多数のコレクションの一部を展示し紹介	丹波市山南町で発掘されている大型植物食恐竜等の化石を展示	海や河川の生物たちの食物連鎖について紹介	貴重な収蔵標本資料や精巧な模型を展示するほか、これら資料を活用したセミナーを随時実施	生命誕生から人類出現、日本列島の生い立ちや森林の多様性を紹介	多くの標本を活用し、熱帯雨林を再現して紹介			
<p>ひとくはく恐竜ラボ 化石クリーニング展示施設「ひとくはく恐竜ラボ」にて発掘後のクリーニング作業の様子を公開</p>												

平成30年度 県立歴史博物館展覧会等計画

区分	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展・特別企画展	<p>〔兵庫県政150周年記念事業 特別企画展〕 線路はつづく —レールでたどる兵庫五国の鉄道史— 4月28日(土)～6月17日(日)</p> <p>レールの側面にはレールの製造者や生産年月、発注した鉄道会社名などが刻印されていることもあり、そこに刻まれた世界各地の製鉄会社や日本各地の鉄道会社の名前から、わが国の鉄道の歩みを読みとることができます。本展では県内各地に保存されている古レールを展示し兵庫の交通の歩みをたどるとともに、時刻表や旅行案内などの展示により、鉄道網の発達に対する県民のまなざしに触れます。</p> <p>【主な展示資料】 ・レール(1898 HANKAKU)／三田市蔵 ・姫津線姫路津山間開通記念両方面連絡ノ瞬間／たつの市教育委員会蔵</p>			<p>〔兵庫県政150周年記念事業 特別展〕 ふしぎジオラマミュージアム —兵庫県立歴史博物館× 海洋堂フィギュアミュージアム黒壁— 7月14日(土)～9月9日(日)</p> <p>「ジオラマ」といえば、模型を使ってさまざまな情景を再現したものを指しますが、元来は絵や模型を別の世界のように錯覚させる見世物のことでした。そうした本来の「ジオラマ」を現在に受け継いでいるのが、日本を代表するフィギュアメーカー・海洋堂の創業者である宮脇修氏発案の「ボックス・ジオラマ」です。この展覧会では、海洋堂フィギュアミュージアム黒壁所蔵の「ボックス・ジオラマ」と、当館蔵「入江コレクション」の資料を通じて、「ジオラマ」の歴史をたどるとともに、その不思議な視覚世界へと観覧者をいざないます。</p> <p>【主な展示資料】 ・待ち伏せ／海洋堂フィギュアミュージアム黒壁蔵 ・新生代／海洋堂フィギュアミュージアム黒壁蔵 ・ポリオラマ・パノプティーク 19世紀 イギリス製／当館蔵(入江コレクション) ・日露戦争自動ジオラマ 明治39年(1906)頃／当館蔵(入江コレクション) ・赤穂義士討入の図組上五枚つづき 明治23年(1890)／当館蔵(入江コレクション)</p>			<p>〔兵庫県政150周年記念事業 特別展〕 ほろよい・ひょうご —酒と人の文化史— 10月6日(土)～11月25日(日)</p> <p>兵庫の特産品として、長い伝統をもつ酒。県内には、清酒発祥の地といわれる伊丹をはじめ、六甲山系から流れる水を活かして酒造りを行ってきた灘、酒造りの職人「杜氏」を輩出した丹波・但馬、『風土記』に酒造りの記載がある播磨など、酒造りにゆかりのある地域が多くあります。各地では、その土地ならではの利点を生かした特色ある酒造りが行なわれ、名酒がつくられる土地には多くの文化人が訪れ、様々な文化が花開きました。本展では、県内の酒造りの歴史と文化について紹介するとともに、絵画や文学資料などを通して、酒と人との関係を考えます。</p> <p>【主な展示資料】 ・酒造株札(紙屋八左衛門・津国屋勘三郎)嘉永元年(1848)／伊丹市立博物館蔵 ・大日本物産図会 摂津国伊丹酒造之図／当館蔵</p>			<p>〔兵庫県政150周年記念事業 特別企画展〕 姫路 今むかし partⅢ 1月26日(土)～3月24日(日)</p> <p>明治・大正・昭和・平成と続く姫路の今昔の変遷については、過去2回の「姫路 今むかし」展で紹介し、大好評を得たところです。とりわけ、古写真を中心とした懐かしい風景との再会は、観覧者それぞれの大切な記憶を思い起こさせ、会場内に穏やかな温もりの雰囲気醸し出してまいりました。平成という一つの時代が、30年余の区切りを迎えようとしているこの時期にあたり、地域の中での自身の過去と現在の姿を確かめ、あらためて自分史を振り返る楽しさを満喫していただきたいと思えます。</p> <p>【主な展示資料】 ・古写真・絵葉書・印刷物などの姫路の近現代資料／当館蔵(高橋秀吉コレクション)</p>		
	歴史工房	<p>「兵庫県政150周年記念展示」 (4～6月):「兵庫県の成り立ち-人物-」 (1月):「近現代兵庫の災害史」</p>			<p>(7～9月):「兵庫県の成り立ち-幕末～明治の世相-」 (2～3月):「国立公文書館所蔵資料展-近代日本と兵庫のあゆみ-」</p>			<p>(10～11月):「スケッチでたどる近代兵庫のあゆみ」</p>				
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史講演会:大学や他の博物館の講師による研究成果発表の講演会(年4回) ・れきはくアカデミー:歴史博物館の学芸員による専門研究の発表(年6回) ・連続歴史講座:歴史博物館の学芸員による連続講座(年2講座5回) ・地域講演会:「県内地域史の諸相をさぐる」をテーマに地域の歴史を見つめてきた方が語る講演会(年3回) ・歴史の旅:学芸員が歴史の舞台を案内(年1回) ・いきいきトライアル:講師と一緒にものづくりに挑戦(年3回) ・教員セミナー:歴史博物館が提案する学校向け博物館活用術(8/7(火)) 											
常設展	<p>ひょうごのあゆみ</p> <p>「国宝建築探訪」「源平合戦」など、兵庫の歴史の大きな流れを発見していくテーマ展示</p>		<p>ひょうごライブラリー</p> <p>約6,000冊の歴史・文化関係の図書、パソコンによる館蔵資料や歴史に関する情報検索、ビデオライブラリー</p>		<p>バーチャル歴史工房</p> <p>大型映像で歴史的な出来事や寺院・民俗芸術・城など、県内の多彩な文化風土を紹介するシアター</p>		<p>みんなの家</p> <p>昔風の民家を再現。また、十二単や甲冑などの着付体験(季節ごとにその時期の風物詩を音と資料で紹介)</p>		<p>歴史工房</p> <p>今年度は、「兵庫県政150周年記念展示室」とし、年間を通して、兵庫における近現代の歴史や先人の偉業を振り返るとともに、その歩みをたどる展示を開催</p>			
	<p>姫路城と城下町</p> <p>姫路城天守の内部をモチーフとした展示空間で、城の歴史、姫路城と城下町の歴史を紹介。国内の現存12天守を模型で展示</p>		<p>ひょうごの祭り</p> <p>「灘のけんか祭り」松原屋台、「魚吹八幡神社秋祭り」垣内檀尻などを現物と映像・音響により展示</p>		<p>こどもはくぶつかん</p> <p>「入江コレクション」を中心に、江戸時代からの子どものおもちゃ・本・娯楽などを紹介</p>		<p>館蔵品展示スペース</p> <p>模型・絵巻写真により、大名行列の様子を紹介</p>		<p>ミュージアム・パフォーマンス</p> <p>歴史博物館のスタッフが歴史や文化を解説(土曜日午後、日曜日午前・午後)に各1回</p>			

平成30年度 県立考古博物館展覧会等計画

区分	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
特別展・企画展・連携館	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔特別展〕 〔兵庫県政150周年記念事業〕 兵庫山城探訪 4月21日(土)～6月24日(日)</p> <p>国史跡に指定された山城を中心に、お城の魅力を紹介する展覧会。竹田城や昨年指定を受けた利神城など兵庫県内には有名な山城が沢山ありますが、展示では鯉瓦・鬼瓦などの出土品を展示するとともに、縄張り図や航空写真・石垣写真を使ってお城の魅力や見どころポイントなどを紹介します。 このように、歴史的な知識や城の構造を知るとともに実際に山城に登る楽しさを博物館で味わってもらおう展覧会です。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔企画展〕 〔兵庫県政150周年記念事業〕 ひょうご五国のはじまりを探る 7月21日(土)～9月2日(日)</p> <p>兵庫県を形容する「五国」という言葉は、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の五つの国から現在の県域が成り立っていることを示しています。 この展覧会では古墳時代の終わりから奈良・平安時代の役所や寺院から出土した資料を中心に、五国の始まりを探ります。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔特別展〕 装飾大刀と日本刀 一煌めきの刀剣文化ー 10月6日(土)～12月2日(日)</p> <p>日本人は古来より現代にいたるまで、他国に類を見ないほど刀剣を尊重し続けてきました。そのことは、現代まで伝わる優れた技術で作られた日本刀だけでなく、古墳などから出土した刀剣にも見えてとることができます。とりわけ古墳時代には朝鮮半島から伝わった技術の影響を受けて金や銀で装飾された煌びやかな大刀が多く作られました。また、平安時代の経塚や戦国時代の城跡から出土した日本刀や刀装具からは日本刀の歴史の新たな側面を見ることができ、今回の展示では遺跡から出土した弥生時代～江戸時代の刀剣などから、日本人の愛した刀剣の歴史をたどります。</p> </div> </div>									<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔企画展〕 ひょうごの遺跡2019 ー調査研究速報ー 1月19日(土)～3月24日(日)</p> <p>兵庫県が実施した発掘調査と出土品整理から、最新の調査成果を一堂に公開します。平成29年度刊行の発掘調査報告書に掲載した遺跡と、平成30年度に発掘調査を行なった遺跡から、選りすぐりの資料をご覧いただけます。</p> </div>										
体験イベント	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>竪穴住居復元プロジェクト 4月～31年3月 (原則第2土曜日、第4土曜日の翌日)</p> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 戦国将棋ー山城攻防 山名対赤松ー 5月4日(金祝) </td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> ベーパークラフト 「櫓を作ろう」 6月16日(土) </td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 考古博DE 夏まつり 7月28日(土) </td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 大中遺跡まつり 11月3日(土祝) 【播磨町共催】 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 古代の家を作ってあそぼう 8月12日(日) </td> </tr> </table>												戦国将棋ー山城攻防 山名対赤松ー 5月4日(金祝)	ベーパークラフト 「櫓を作ろう」 6月16日(土)	考古博DE 夏まつり 7月28日(土)	大中遺跡まつり 11月3日(土祝) 【播磨町共催】	古代の家を作ってあそぼう 8月12日(日)			
戦国将棋ー山城攻防 山名対赤松ー 5月4日(金祝)	ベーパークラフト 「櫓を作ろう」 6月16日(土)	考古博DE 夏まつり 7月28日(土)	大中遺跡まつり 11月3日(土祝) 【播磨町共催】																	
古代の家を作ってあそぼう 8月12日(日)																				
講座	<p>特別展に関連する講演会・遺跡ウォーク：「兵庫山城探訪」関連講演会（4回）、「装飾大刀と日本刀」関連講演会（4回）、宮山古墳と周辺古墳巡り（1回）</p> <p>兵庫考古学研究最前線：館長・学芸員等が研究成果を発表（年9回）発掘調査速報会 3/10（日）</p> <p>教員セミナー：授業で使える教材開発等（8/8）</p>																			
体験学習	<p>組ひもづくり：組ひもでマフラーをつくる（初級・上級）（年各1回）</p> <p>まが玉づくり：ガラスや琥珀でまが玉をつくる（年4回）</p> <p>土器づくり：古代の土器づくりを実際に体験する（年2回）</p> <p>バックヤード見学ツアー：普段入れない考古学の研究現場を案内（年4回）</p> <p>縄文時代の編み方でコースターづくり（8/5）</p> <p>古代の技に学ぶかごづくり～クラフトテープでかごづくり～（8/26）</p> <p>古代大刀の柄頭に挑戦（低融合合金で柄頭をつくる）（10/14）</p> <p>節分～鬼瓦のお面で鬼退治～（1/27）</p> <p>古代の技に学ぶかごづくり～天然素材の小物入れ～（2/10）</p>																			
常設展	<p>人・環境・社会・交流の4つのテーマで構成</p> <p>〔人〕私たちの由来 〔環境〕自然とともに</p> <p>〔社会〕国のなりたち 〔交流〕みち・であい過去から未来へ</p> <p>展示室内には県内各地の遺跡から出土した考古資料やジオラマ・模型・映像など多様な展示手法を配し、わかりやすく兵庫県の考古の謎を解き明かす。</p>									<p>〔発掘ひろば〕</p> <p>自ら体験することによって発掘の楽しさ、謎解きのおもしろさ、考古学の楽しさを実感できる展示。幼児から大人まで自然に考古学に親しむ。</p>										

平成30年度 県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」展覧会等計画

区分	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展・企画展・連携館	<p>〔企画展〕</p> <p>〔兵庫県政150周年記念事業〕</p> <p>吉祥の図像 鏡に表された願い</p> <p>3月15日(木)～9月11日(火)</p> <p>鏡の裏面に表現された紋様や銘文の中には、鏡が持つ神秘的な力に人々が幸福の到来を託したものがああります。長寿や繁栄など、時代を超えて人々が願う思いが込められた図像をご覧ください。青銅鏡13面を展示します。</p>					<p>〔企画展〕</p> <p>唐王朝の彩り 宮廷の栄華をうつす金銀銅</p> <p>9月14日(金)～3月12日(火)</p> <p>大唐王朝の都・長安から発見される金銀器は、絢爛たる貴族社会を背景に卓越した工芸技術と異国情緒豊かな感性が融合した「美の集積」です。唐建国1400年を迎えた本年、唐文化の粋を集めた金銀器や銅鏡によって、遙かなる長安の繁栄と栄華が甦ります。</p>						
	<p>〔スポット展示〕</p> <p>海獣葡萄鏡の世界2</p> <p>7月19日(木)～9月11日(火)</p> <p>東西文化の交流を反映した鏡の多様性を紹介します。</p>				<p>〔スポット展示〕</p> <p>干支 亥</p> <p>1月2日(水)～3月12日(火)</p> <p>新年を迎え、亥年の干支にちなんだ意匠の鏡を紹介し、合わせて干支の成立事情や意味を解説します。</p>							
講座	<p>講演会：「吉祥の図像」関連講演会(6/9)、特別解説会(7/7) 「唐王朝の彩り」関連講演会(11/10、1/19)、特別解説会(10/6、2/16)</p> <p>考古楽連続講座：遺跡を知ろう(9/15)、フラワーセンター内遺跡ウォーク(12/8)、古代鏡の楽しみ方(12/1 3/9)</p>											
体験学習	<p>金属で鏡をつくろう(6/30、7/28、8/25、9/22)</p>											
常設展	<p>千石コレクションをガイダンス展示、コレクション展示、画像検索などの常設展示コーナーで展示し、古代中国鏡の文化を紹介。</p>						<p>無料ゾーンでは映像コーナーや体験コーナーで親しみやすい手法で銅鏡に親しむ。</p>					